

二〇一九年九月の作品 海塩弘子さん

(令和元年八月制作)

○今年また 土用うしの日 妹から

○舌の上 とろける土用 うしの日よ

○空いっぱい テーマのありし 揚花火

○花火師の 意地とロマンが 花ひらく

○目ざめても まぶたに残る 揚花火

○温度計 見れば吹き出る 玉の汗

○窓ごしに 夏空よぎる 黒い鳥

○暑くるし テレビつければ ここもまた

○玉音に 一番長い 夏一日

○あの夏に 玉音聞きて 幾とせか

